

令和元年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」などは増加したものの、「科学光学機器」、「有機化合物」などが減少したことから、伸率（対前年同月比）2.7%の減少となった。また、輸入額は「非金属鉱物製品」などは増加したものの、「原油及び粗油」、「液化石油ガス」などが減少したことから、同12.7%の減少となった。

これにより差引額は、523億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	705億円	▲2.7%	1,228億円	▲12.7%	▲523億円	▲23.3%
	6カ月連続の減少		4カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	39億円	17倍	増加品目	(1)非金属鉱物製品		4億円	+21.3%
		(2)石油製品	83億円	+59.8%		(2)肉類及び同調製品		1億円	+582.7%
		(3)その他の化学製品	28億円	+76.1%		(3)木製建具及び建築用木工品		6億円	+11.2%
	減少品目	(1)科学光学機器	10億円	▲77.3%	輸入	(1)原油及び粗油		702億円	▲7.7%
		(2)有機化合物	48億円	▲23.2%		(2)液化石油ガス		23億円	▲58.2%
		(3)ゴム製品	20億円	▲30.7%		(3)石油製品		41億円	▲24.2%
	地域別動向				地域別動向	増加：中東			
	減少：アジア、中東欧・ロシア等					減少：中東欧・ロシア等、北米			

（参考）ドルレートは、107.77円（前年同月比4.5%、5.13円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。